

□ アーバンデザインセンターすみだ活動促進事業



アーバンデザインセンターすみだ
URBAN DESIGN CENTER SUMIDA

東京23区で唯一大学のなかった墨田区では、積年の悲願であった大学誘致が実現し、文花地区に2つの大学が開学・開設した。これを契機に、公民学連携のプラットフォーム「UDCすみだ」を設立し、将来ビジョンの検討や都市空間のデザインマネジメントのハード面、まちづくりの担い手育成等のソフト面、双方のアプローチから、大学の知見を活用した地域課題の解決を目指す「大学のあるまちづくり」を推進する。

■ 概要

区市町村名	墨田区
まちづくりプロデューサー	アーバンデザインセンターすみだ (UDCすみだ)
行政の関わり	UDCすみだは、墨田区・千葉大学・iU 情報経営イノベーション専門職大学・区内関係団体で構成される公民学連携組織。墨田区が事務局を務め、「大学のあるまちづくり」を推進。
連携先	国立大学法人千葉大学 iU 情報経営イノベーション専門職大学
対象エリア	墨田区文花・京島地区（文花一丁目のキャンパスエリアを拠点）

■ 本年度の取組内容

- ・地域全体に賑わいを生み出すための遊具のあり方検討
- ・「アカデミックハウスプロジェクト」にて古民家イベントを実施
- ・その他機運醸成に要するイベント実施等



■ 本年度の成果

・UDCすみだ運営委員会（月1回）
⇒シンボルプロジェクトであるアカデミックハウスプロジェクトの進捗報告のほか、UDCすみだの啓発活動、大学の知見を活用した社会実験等について議論を行った。

・アカデミックハウスプロジェクト
⇒京島地区にある古民家をコミュニティ施設や学生の住まいとしてリノベーションする事業。建物オーナーによる改修を前提に、UDCすみだをサポートする形で古民家を活用した子ども向けイベントを昨年度に続き実施した。



・地域全体に賑わいを生み出す公園遊具のあり方検討
⇒エリアイノベーション推進のため、地域全体に賑わいを生み出すための遊具のあり方を検討し、デザイン開発を行った。

